議会だより
No.183
令和3年8月1日発行
埼玉県嵐山町

らんざん

新型コロナワクチン集団接種風景（ふれあい交流センター）=R3.6.13

令和３年 第２回定例会

傍聴者 48人

◆第２回定例会(6/4～6/18)主な議案と審議結果 …… P2～3
◆第６次嵐山町総合振興計画を策定 …… P4～5
◆一般質問10人が町政を問う …… P6～16
◆常任委員会・政務活動費 …… P17～19
◆読者の声/議会だよりクイズ/編集後記 …… P20

議員が編集した手づくり議会だよりです

http://www.town.ranzan.saitama.jp/category/6-0-0-0-0.html

嵐山町議会 検索

6月議会定例会　主な議案（6月4日～18日）

議案第26号
嵐山町立小中学校再編等審議会設置条例を制定することについて

Q 再編を前提にしたものか

A 前提にしたものではない。町長の諮問もあるが、その内容は教育委員会が所管する範囲内のことである。

Q 町民の意見を反映するには委員の人数が少ないのではないか

A 委員以外にも必要に応じて意見を聞くことができる。

Q 委員の選任に代表する者とあるがその選任方法は

A あて職にしないで期間を通してやっていただく。

議案第34号
令和3年度嵐山町一般会計補正予算（第1号）議定について

Q 子どもの意見を聞いてほしい

A 審議会ができたら委員に伝える。

Q 今後の進め方は

A 広く町民の意見を聞き議会には審議の途中でも報告していく。

歳入歳出それぞれ1億6711万円を追加するもの

- **子育て世帯生活支援特別給付金事業補助金** 1185万円
- **小規模事業者等応援等給付金** 3900万円
- **公園等トイレ改修工事** 1650万円
- **農業用施設整備事業** 5914万円など

Q 統合型校務支援システム構築を債務負担行為にしたのは何故か

A 上里町と令和3年度から5年間の共同事業に関する協定を締結するため。

Q 小規模事業者等応援給付金はどのように支給されるか

A 前年または前々年に比べ売上が減少している割合に応じて給付金を支給する。

Q トイレの改修工事をする公園はどこか

A 菅谷公園、フィットネスパーク21、花見台の2か所で計4カ所。

Q 農業用施設整備事業で行う深浅測量とは

A 改修工事の際、しゅんせつ工事をする場合の基礎調査となるもの。

議案第36号
第2次嵐山町都市計画マスタープランを策定することについて

20年後を目標とし、都市計画における目指すべき将来都市像やその実現のための基本方針となるもの

Q 町独自に創意工夫したところは

A 南北に細長い地形であるなか、交通の要所があるのを最大限生かしていく点。

反対討論
気候変動に対する記述がない。都市利用計画では緑を増やす計画がわずかで、開発をすすめる意図が見える。

人事
諮問第1号
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
嶋田静江氏（新任）

同意第2号
嵐山町監査委員の選任につき同意を求めることについて
堀江國明氏（再任）

令和3年第2回定例会　提出議案と結果（6月4日召集）

議案番号	賛否の分かれた議員提出議案 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました。	審議結果	小林 智	山田 良秋	狄守 勝義	藤野 和美	大野 敏行	畠山 美幸	長島 邦夫	青柳 賢治	川口 浩史	松本 美子	渋谷登美子	森 一人
発委第1号	**嵐山町議会会議規則の一部を改正する規則の提出について** 議員活動と家庭生活との両立支援策などや請願者の利便性の向上を図るため改正するもの	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
発委第2号	**エネルギー基本計画の改定に関する意見書の提出について** 脱炭素社会に向けて、環境負荷の少ない再生可能エネルギーを推進する政策への転換を早急にすすめることの意見書を国に提出するもの	可決	×	×	●	●	●	×	●	×	●	●	●	議長
発議第5号	**県内農産物・地域経済・消費者の食を守る条例制定を求める意見書の提出について** 種苗法の改正により危機的な状況になっている県内農産物・地域経済・消費者の食を守るため条例制定を求める意見書を県に提出するもの	否決	×	×	×	●	×	×	×	×	●	×	●	議長
発議第6号	**女子差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出について** 114ヵ国が批准している女子差別撤廃条約選択議定書の早期の批准を求める意見書を国に提出するもの	否決	×	×	●	●	×	×	●	×	●	×	●	議長
発議第7号	**東京五輪の開催中止を求める意見書の提出について** コロナ感染によって医療崩壊の危機を抱えているなか、我が国の近未来のことを考え、東京五輪の開催中止を求める意見書を国に提出するもの	否決	×	×	×	●	×	×	×	×	●	×	●	議長

令和3年第2回定例会　提出議案と結果（6月4日召集）

議案番号	賛否の分かれた町長提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました。	審議結果	小林 智	山田 良秋	狄守 勝義	藤野 和美	大野 敏行	畠山 美幸	長島 邦夫	青柳 賢治	川口 浩史	松本 美子	渋谷登美子	森 一人
諮問第1号	**人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて** 任期満了に伴い、新たに人権擁護委員を推薦するもの	適任	●	●	●	●	●	●	●	●	退席	●	退席	議長
議案第26号	**嵐山町立小中学校再編等審議会設置条例を制定することについて** 町立小中学校の再編等を審議するための審議会を設置するためのもの	可決	●	●	●	×	●	●	●	●	×	●	×	議長
同上修正案（渋谷議員）	**嵐山町立小中学校再編等審議会設置条例を制定することに対する修正動議** 上記の議案を修正するためのもの	否決	×	×	×	●	×	×	×	×	●	×	●	議長
議案第35号	**第6次嵐山町総合振興計画を策定することについて** 町の「最上位計画」に位置付けられ、10年後の将来像（目標）を示し、「まちづくり」を総合的かつ計画的に推進するためのもの	可決	●	●	●	×	●	●	●	●	×	●	×	議長
議案第36号	**第2次嵐山町都市計画マスタープランを策定することについて** 20年後を目標とし、都市計画における目指すべき将来都市像やその実現のための基本方針となるもの	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	×	議長
請願第1号	**再生可能エネルギーの割合を高めるエネルギー基本計画の改定に関する請願　請願者　西山日輪子様他14名　紹介議員　藤野和美議員** 脱炭素社会に向けて、環境負荷の少ない再生可能エネルギーを推進する政策への転換を早急にすすめることを請願するもの	可決	×	×	●	●	●	×	●	×	●	●	●	議長

議案番号	全員賛成の町長提出議案	議案番号	全員賛成の町長提出議案
報告第1号	**令和2年度嵐山町一般会計繰越明許費繰越計算報告について** 金額が確定したことによるもの	議案第29号	**嵐山町介護保険条例の一部を改正することについて** 新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免の継続実施等に伴い改正するもの
報告第2号	**令和2年度嵐山町一般会計事故繰越し繰越計算報告について** 金額が確定したことによるもの	議案第30号	**嵐山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて** 指定地域密着型サービスの基準の一部を改正するもの
報告第3号	**令和2年度嵐山町水道事業会計予算繰越の報告について** 事業の年度内完了が困難になったため繰越しするもの	議案第31号	**嵐山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて** 指定地域密着型介護予防サービスの基準の一部を改正するもの
承認第3号	**専決処分の承認を求めることについて（嵐山町税条例等の一部改正）** 地方税法等の一部を改正する法律が令和3年3月31日に公布されたことによるもの	議案第32号	**嵐山町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて** 指定介護予防支援等の事業の基準の一部を改正するもの
同意第2号	**嵐山町監査委員の選任につき同意を求めることについて** 任期満了に伴い、新たに監査委員を選任するため	議案第33号	**嵐山町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて** 指定居宅介護支援等の事業の基準の一部を改正するもの
議案第27号	**特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正することについて** 嵐山町立小中学校再編等審議会を設置することに伴い改正するもの	議案第34号	**令和3年度嵐山町一般会計補正予算（第1号）議定について** 歳入歳出それぞれ1億6711万円を追加し、一般会計予算の総額を歳入歳出それぞれ61億9111万円とするもの
議案第28号	**嵐山町国民健康保険条例の一部を改正することについて** 新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの	議案第37号	**町道路線を廃止することについて（公共用地払下申請）** 公共用地払下申請に伴い、町道路線を廃止するもの

第6次総合振興計画決まる

10年後に実現したいまちの将来像は…

「未来へつなぐ　ひと　しぜん　くらし　ともに学び育むまち　らんざん」

議案第35号

第6次嵐山町総合振興計画を策定することについて

特別委員会に付託され、6月14日、15日の2日間にわたり審査した。

子どもたちは、嵐山町の未来の宝

審議内容（主な質疑等）

Q 「まちの将来像」のなかに町民参加の記述がないのはなぜか

A 「私たちのまち」という思いで積極的に行政に参画することと記述している。

Q 「人口推計」で掲げられている目標人口は、最近の出生率の動向では厳しいのでは

A 厳しいけれど国の長期ビジョンに基づく目標とする。

Q 地域の伝統文化を次世代の子ども達に伝えるとの記述の中身

A 学校・地域を含めて広くやっていく。

Q 「定住促進」のなかで、「若者が転出してしまうケースがある」との記述がある、記載されている施策で十分なのか

A 大きな問題なのでトータル的に取り組む。

Q 「学校教育なら嵐山町」を目指すとあるが不登校の子どもにとってどうなのか

A 学齢に達したすべての子どもに対する教育という趣旨である。

Q 小中学校の規模や配置の在り方について、「再編等を図る」を追加したのは、学校統合を進めるという意味が込められているのか

A あくまで条例で設置された審議会で議論したうえで決めていただくことに変わりない。

Q ふれあい交流センターに常駐職員がいなくて各種事業は可能なのか

A 常駐職員がいなくても円滑に進められるようにする。

Q 地域福祉活動の中の包括的支援の内容とは

A 複合的に困難を抱える世帯を丸ごと支援していく。

Q 公園・子どもの遊び場の満足度上げるとりくみは

A 財政状況をみながら規模の大きな公園に大型遊具を設置する。

Q 自転車道の記述がない

A 路面標示で対処していく。

Q 有機農業について記述がない

A 生産者の顔の見える安全・安心な農産物の販売を支援。

Q 町の取り組んでいる事業が人口規模や職員の数に対し多すぎているという認識の記述がない

A 人材育成、効率的な事務執行及び行政機構の改革などにより対処。

Q 財政運営の基準は

A 4つの軸を基本に予算編成及び財政運営をする。

主な意見

・委員会でもっと審議する場を作らなければいけない、今回の方法が良いと思わない。
・自治基本条例を記述すること。
・地方分権が入っていない。
・内容の認識が古い。コロナと付き合っていかなければならない時代を反映していない。
・体制の方向が違っており、早い段階での修正を望む。

委員間協議後、渋谷委員から提出された修正案の説明、質疑等

Q 町民参加を例規に整えるとは

A まちづくり基本条例に基づいた規則により町民参加を保障し、町民が説明を受けたり、求めることができる。

審査の結果

修正案…挙手少数で「否決」
原　案…挙手多数で「可決すべきもの」

少数意見報告書要旨

渋谷登美子　議員

今の情勢を反映したものでなくウイズコロナ・アフターコロナ、そして、気候変動の時代をどのように持続可能な嵐山町として生き抜いていくかの視点が弱く、議会で議案として賛成されれば町民や議会とは関係なく事業を進めていくことが可能であるという姿勢が全面に出ている。まちづくり参加が町民に保障されていないこと、形式的なまちづくり参加が審議会委員への諮問という形で行われているにすぎず、課題が大きいことを指摘する。

原案賛成討論要旨

小林智　議員

全体に第5次総振の体系を継承し、内容的には個々の施策も見直しを図っているが、総体として今後十年間の大きな枠組みは構築されている。また重点施策を重点プロジエクトに位置付けてメリハリがある。欲を言えば、手法の前例踏襲、エビデンスのアンケート重視、目指す指標の適切性など課題もあるが長期総合計画として細かな課題よりは長期の方向性として評価できる。

長島邦夫　議員

町の発展には財政的な豊かさを着実なものにし、住民福祉向上を第1に、協働のまちづくりが重要と考える。

特に子育てしやすい環境を目指す子どものびのび成長プロジェクト、みんなわくわく活躍プロジェクト、住民と共に良き町を目指す地域いきいき安心プロジェクト等は素晴らしき将来が築ける計画と評価する。

しかしICT推進が今後も情報伝達が主の残念な部分も見られ、SNSも多用する安心安全なコミュニケーション社会が推進されることを期待し、賛成する。

青柳賢治　議員

これから十年後の将来像の根底に流れる「まちづくりはそこに住む人のためであり、住む人が幸せに暮らすために行われる」このことこそが今までの嵐山町に脈々と流れる神髄であり自然なまちづくりの法則でもある。小さな幸せをたくさん感じ他人に分けてあげることのできる人であふれるまちに。

請願審査

請願第1号
再生可能エネルギーの割合を高めるエネルギー基本計画の改定に関する請願

要旨

脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギー推進政策への転換を早急に進め、次期エネルギー基本計画で2030年度の再生可能エネルギー電力目標を60％以上、2050年度には100％とする。リスクを抱える原子力発電は廃止し、石炭火力発電は段階的に2050年までに廃止。

以上について、意見書提出を求めるもの。

○委員からの主な意見

・安定供給はまだ先の話だができると思う。
・太陽光・風力、波力でできる
・原発は大量に金がかかる。
・国の政策で判断できない。

○審査の結果

賛成多数で「採択すべきもの」と決定。本会議も可決。

反対討論

日本の現状は原子力の不足分を石炭の火力発電によって電力需要を何とか賄っている。

日本政府に原子力を廃止する計画はない。実現まで相当の期間を要する請願であり反対。

賛成討論

地球の気候変動を抑えなくては海水面が上昇し、2050年には島国が沈没する。石炭のCO_2の排出を止めなくてはならない。3・11以降原子力エネルギーは破綻している。

可決意見書

請願の採択に伴う、委員会発議

「エネルギー基本計画の改定に関する意見書」

提出先
内閣総理大臣　衆参両院議長
経済産業大臣　総務大臣　環境大臣

10人の議員が町政を問う

一般質問とは
　議員が、定例会において、町の行財政全般にわたって、町に対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。それにより、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させたりするものです。一人の議員の持ち時間は、質問、答弁を含めて100分以内です。

（質問順）

1 山田（やまだ）　良秋（よしあき）
質問事項
- ◆ゴミ収集について
- ◆教育センターの設置について

2 松本（まつもと）　美子（みこ）
質問事項
- ◆終息の見えないコロナウイルスについて
- ◆農林業の取り組みについて
- ◆ラベンダー園の整備について

3 狄守（いずもり）　勝義（かつよし）
質問事項
- ◆イーグルバスの運行について
- ◆「嵐山町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」について
- ◆コロナ禍の児童生徒の学びの状況について

4 長島（ながしま）　邦夫（くにお）
質問事項
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種について
- ◆町内の企業状況について
- ◆樹木被害について

5 小林（こばやし）　智（さとし）
質問事項
- ◆「里地里山づくり」の活動の状況と推進について

6 青柳（あおやぎ）　賢治（けんじ）
質問事項
- ◆教育のデジタル化について
- ◆コロナ禍で加速する無子化社会について

7 畠山（はたけやま）　美幸（みゆき）
質問事項
- ◆住民生活の基盤となる業務の委託契約の在り方について
- ◆「蘇る杉山城址」プロジェクト

8 渋谷（しぶや）　登美子（とみこ）
質問事項
- ◆オリンピック聖火リレーについて
- ◆包括的な性教育の実施について
- ◆「子宮頸がん予防ワクチン接種のお知らせ」について
- ◆町立幼稚園3年保育について
- ◆嵐山町業務にたいする適正職員数について

9 藤野（ふじの）　和美（かずみ）
質問事項
- ◆谷津田の利活用について
- ◆空き家等を利用しての「居場所づくり」について
- ◆町の受付体制について

10 川口（かわぐち）　浩史（ひろし）
質問事項
- ◆可燃ごみについて
- ◆町施設の貸し出しについて
- ◆学校再編について
- ◆セイメイファームについて
- ◆避難所について

◆質問事項のうち、網掛け部分については、記事を掲載してあります。

ゴミは宇宙規模でも課題である

山田　良秋 議員

答 町のゴミ量は他町に比較し概ね少ない

町の「ゴミの収集」と「教育センター」

問 町の各種ゴミの量は、人口規模が同様な他町村と比較し多いか、少ないか。

答 **環境課長**　令和元年度の嵐山町のゴミ収集量は、生活系ゴミ3644トン、事業系1484トン、計5128トン。比企町村内では少ない方である。

問 アルミ缶、新聞紙等の町への年間収入は。また増加傾向にあるのか。

答 **環境課長**　令和2年度は、アルミ缶119万6460円、紙・衣類197万7612円、合計317万4072円で前年度比128万3081円の減となっており、増加傾向にはない。

再問 予算の組み入れはどのようになるか。

再答 **環境課長**　一般財源となる。

問 生ごみ処理機の設置補助制度の内容と利用状況は。

答 **環境課長**　令和元年度がコンポスト5基、電気式5基で9万9000円、令和2年度がコンポスト12基、電気式3基で9万8100円の補助金を支給している。

問 各家庭や町内企業のゴミを減らす啓蒙を町としてどのようにに行っているか。

答 **環境課長**　ゴミカレンダーによる周知、町広報においては、ゴミの減量化、分別化、再資源化に関して、令和元年度8回、2年度12回掲載し周知・啓発を図っている。ホームページにも同様の記事を掲載し、状況に合わせ逐次更新している。

教育センターの設置について

問 教員は児童・生徒相手のため自分が欠けたとき同僚に負担がかかるので無理をする。人間は、休む時はしっかり休んで、元気回復する必要がある。教職員が短期に休む場合どのような対応になるか。

答 **教育委員会事務局長**　数日の休暇等については、代員措置はないので、教頭、教務主任等が対応する。

問 西部教育事務所管内で川越市他7市、毛呂山町が教育センターを設置し、教員研修他、臨採職員を常駐させ、学校職員の短期休暇に対応し、児童生徒の学習を保障していける。町独自、又は近隣町村と連携し、教育センターを設置できないものか。

答 **町長**　本町規模での設置は課題が多い。財政的にも無理のない形で既存の学校施設等を活用し児童・生徒・保護者の相談などの機能を持たせ学校を支援できるような仕組みについて、今後研究していきたい。

良い土をつくるコンポスト＝R3.6.18

松本　美子 議員

町の農地大切だね

農業委員会の農地利用状況の調査は

答 現地調査を行い、隣接の農家担い手につなぐ

問 2市5町で構成する比企丘陵農業遺産推進協議会で取り組まれてきた、谷津田農業遺産の登録にはならなかったが、今後を伺う。

答 **農政課長**　1次審査を経て現地調査後、令和3年1月の2次審査を受けたが、認定には至らず、再度日本農業遺産の登録に向けて活動を継続する。

問 農地バンク制度は、管理できない農地が生じないための登録制度である。農業委員会が農地利用状況調査を実施しているが状況を伺う。

答 **農政課長**　登録は89筆、9万583㎡、貸付は14筆、1万6471㎡である。農業委員会の調査会で現地調査を行い、隣接の農家や地域の担い手につなげる。借り手が見つかるまでは所有者の管理だが、今後も登録地が増えると予想する。

問 山林は荒廃が進み、手がつかないのが現状である。所有者への指導と方向性は。

答 **農政課長**　平成27年度より県補助を頂き、里山平地林事業を実施した。竹林化した山林の整備、所有者との協定により5年間の維持管理をお願いしている。

終息の見えないコロナ対応

問 ワクチン接種シュミレーションでの課題は。

答 **健康いきいき課長**　想定以上の時間が必要であった。原因は人員不足と考え、本番に向けて職員の配置を見直し、実施する。

ラベンダー園の現状と今後は

問 ラベンダー園の全面積10haのうち、小麦を2ha作付けたと聞く。町の木花の記念植樹の考えは。

答 **企業支援課長**　ラベンダー園については、3年間交付金の補助を受けながら整備することになっている。今後、検討内容の1つとしていく。

農業委員会調査＝ R3.6.18

狄守　勝義 議員

ちょっとの工夫で利便性が向上すると思ったが

イーグルバス路線「武蔵嵐山病院」経由へ変更の考えは

答 現状、路線変更は難しい状況にある

問 イーグルバスの運行について⑴ときがわ町と嵐山町間を運行するようになった経緯と目的は。⑵運行にあたっての負担金の決め方と負担割合は。⑶町民の要望でもある「武蔵嵐山病院」経由という路線変更を検討し、進めてほしい。その考えは。

答 **地域支援課長**　⑴後期の第4次総合振興計画策定に伴うアンケート結果でバスの便と路線網に対する不満度が49・6%あったことや福祉循環バスの老朽化が進んでいたことに伴い、平成17年度、嵐山町・都幾川村・玉川村より、路線バスの運行についてイーグルバス（株）へ相談したことから検討が始まり、平成21年度にときがわ町公共交通活性化協議会が発足し、大幅な増便をしてからは、ときがわ町主導となっている。目的は町民の交通手段の確保と、ときがわ町との広域連携による駅周辺の活性化であった。

⑵当初、嵐山町・ときがわ町間の路線の負担割合はほぼ半々だったが、現在はときがわ町のバス路線増便に伴い嵐山町分の負担金は、年3000万円の定額になっていて、令和2年度の負担割合は13・7%である。

⑶第6次嵐山町総合振興計画を策定するにあたり実施した住民意識調査では、「やや不満」を併せて22・7%と前回より低くなっている。自由意見では、武蔵嵐山病院までの延長を望む声も少数だった。また、イーグルバス（株）に相談したところ、武蔵嵐山病院経由にする場合は「つきのわ駅」か「森林公園駅」が終点になる可能性が高いこと、運転手の確保が難しいことから路線増設は困難であること、負担金の増額は避けられないこと等の意見をいただいている。以上のことから、路線変更は難しい状況にあるが、町の地域公共交通の在り方等については、今後予定されているプロジェクトの最終報告等も参考にして検討していく。

武蔵嵐山駅で客待ちをするイーグルバス＝ R3・6・19

長島　邦夫 議員

コロナワクチン接種予約の状況は

答 町予約済の方、施設対象者、6月10日からの予約予定者で高齢者全体の82・12％になる

いよいよ始まったワクチン接種、蔓延防止に期待する!!

問 接種は任意であり、不安や懐疑から判断は様々である。またワクチンパスポート等の議論もある。高齢者予約状況を聞く。

答 健康いきいき課長　65歳以上の高齢者を対象に5月18日より受付、7月末までに2回接種が完了する方は町受付、町内クリニック受付の合計で8、236回となる。現計画では満員となった。

再問 未予約の高齢者も多数いる。予約できなかった方、接種の状況を見極めての方と様々と思うが、6月10日からの予約で高齢者予約は終了となるのか。

再答 健康いきいき課長　予約優先順位は医療関係者、高齢者、続いての基礎疾患者、一般接種に進むが高齢者の予約は随時可能。

再問 高齢者接種は7月末までと国の指示があるようだが。

再答 健康いきいき課長　医師会と相談し、今後追加で3回の集団接種を考えている。また既に町予約をしている方、施設接種対象者、6月10日からの予約予定者で全体の82・12％になる。

再問 国は高齢者に続いて基礎疾患者、一般の方に早々の接種券配布を各自治体に要望している情報があるが。

再答 健康いきいき課長　国からは高齢者接種が終了したら空白期間を置かず、次のステップに移る体制指示がある。基礎疾患者、16歳以上の接種券は6月末までに印刷し、職域接種も始まることから7月1日以降に順次配布をする。

問 変異ウィルスの出現により若者でも重症化する報道もある。副反応もあるとされており、自己判断が難しい。情報提供が更に重要となるが町の対応は。また、直接、電話での対応も可能か。

再答 健康いきいき課長　情報提供は町ホームページ、広報、テレビ玉データ放送等で発信している。接種券発行時に予約、接種会場の詳細、関連機関情報も同封、提供している。町のコールセンターでも、質問及び疑問には応える体制にある。

ふれあい交流センター　ワクチン集団接種の光景＝R 3.6.23

小林　智 議員

里地里山保全活動への取り組みと支援は

答 ボランティア活動への支援を行い、今後も取り組んでいく

里地里山はみんなで守る!

里地里山づくりの活動状況と推進について

問 「緑と清流の町」嵐山には、里山の保全を目的として「里地里山づくり条例」がある。活動団体と活動地域・内容は。

答 環境課長　条例にもとづく団体は、一団体で広野地区2か所を活動地域としている。

　里山を再生、保全、整備し町民が憩う里山公園として活用、自然環境の保護と次世代に里山を継承することを目的に、落ち葉掃きや倒木整理、篠竹刈り、植栽等の活動をしていただいている。

問 条例にもとづく「保全地域」の指定と管理・活用は。

答 環境課長　千手堂、勝田、広野、平沢地区に計5か所の「保全地域」がある。

　ボランティアによる雑木林の間伐、下草刈り、植樹等を実施し、シイタケの植菌、児童を中心とした団体では栗拾い等の自然体験事業を行っている。

活動団体への支援は

問 活動団体では、作業機械の維持費や燃料代などボランティア活動としても相当の負担となっている。支援は。

答 環境課長　保全活動は大切で有意義な活動である。町の提案型事業費補助金制度もあるが、県やその他の補助制度の活用も含めて、いろいろな方法を検討させていただく。

里山景観の保全と無秩序な開発抑止は

問 里山の景観を形成している山林には、町外の大手企業が所有しているところも多い。林地の無秩序な開発を抑止するため、地域の保全計画を立てて、町外の長期保有者に里山の保全を積極的に呼びかけ賛同を求める姿勢、考えはないか。

答 町長　考えは理解できるが私有地でもあり、具体的な取り組みはなかなか難しい。

金皿山活動地　１号地 =R 3.6.9

里山を活かす会のみなさん =R 3.6.9

金皿山活動地　２号地 =R 3.6.9

青柳　賢治 議員

コロナ禍激減　出産応援金で未来へ繋げ

答 財政面、社会状況を考慮し今の事業を充実

ICTを先生の余力に活かして

生徒全員へ学習用タブレット配布、活用は

問 (1)保護者への説明、案内
(2)5月までのタブレットの利用状況
(3)教員への支援体制
(4)通信環境のない家庭への対処
(5)デジタルツールの活用方法

答 教育委員会事務局長　(1)5月に学習用タブレットの導入と貸与について通知、ICTを活用した新たな学びを進めるために、タブレットを一人一台利用、今後、家庭へ持ち帰り学習すること、保護者の同意書をいただいた。
(2)令和3年3月に納品、利用するためのアカウント初期設定、機器の更新、教職員の研修等に時間を要し、早い学校で5月中旬となった。どの学校においても「まずはタブレットに慣れる」ことを目的とし、操作を進めている。
(3)全ての教職員を対象とした操作研修を行なった。ICT支援員が積極的に携わり、抵抗感なくICTが活用できるよう、サポート体制をとっている。
(4)通信環境の有無のアンケートをとることを予定している。どうしても家庭で用意できない場合は、通信環境の必要のない課題を出していくなど、学校側で配慮し、全ての児童生徒が家庭において機器を利用した学習ができるよう考えている。
(5)オフィス365、スカイメニュー、eライブラリー等が導入され、双方向オンライン授業、ドリル学習等に活用。

激減20人　コロナ禍、5月までの出生数

問 出産応援金のような町独自の施策は。

答 地域支援課長　地方創生臨時交付金を活用、令和3年3月までに生まれたお子さんに10万円給付。

前倒しで進むＧＩＧＡスクール＝R3.6.24

畠山　美幸 議員

契約方法は、各地方公共団体の裁量では

答 現在の方法でも支障なくできている

社会基盤となる業務は地元に業務委託を

住民生活の基盤となる業務の委託契約の在り方について

問 ゴミの収集等の業務において、地元の事業者であれば災害時対応等が適切に進められる。一方で、ゴミの収集等の業務は、競争入札で費用がより安くなる事業者に委託することになっており、場合により遠方の事業者が業務を請け負うケースもある。ゴミ収集等の環境管理業務のように、ある意味私たちの生活を支える、警察や消防に匹敵する重要な社会基盤となる業務については、地元に密着した事業者との継続的な委託契約を実現することが重要では。

答 総務課長　契約金額の変更のない業務は、継続的な委託契約を行っている。ごみ収集業務は、毎年契約金額を見直すため、継続的な契約は難しい。地域に密着し、人材の育成等、業務品質の確保、災害時の対応は、非常に重要です。入札契約制度の基本的な方針として、嵐山町では「町内業者が出来るものは町内業者で」と定めており、地元企業の積極的な入札参加を促進、活用している。

再問 契約方法を競争入札、或いは随意契約を選択するのは、各地方公共団体の裁量であるが、ごみ行政はどのようにするかを考えることに随意契約のメリットがあると言えると木村昭興氏のレポートにあるが。

再答 副町長　現在、支障なく実施していただいている。災害時については、協定締結している。

蘇る杉山城プロジェクト

問 (1)杉山城址をVR活用する事は。
(2)町内民間企業との連携で、お土産品開発は。

答 企業支援副課長
(1)AR・VR技術を使ったデジタルコンテンツの活用は、多額の費用が想定されるが、将来的に検討を進めたい。
(2)杉山城の御城印が販売良好です。今後、「城」に関する商品を検討したい。

人気沸騰中！杉山城御城印
＝嵐山町観光協会提供

国指定文化財「杉山城跡」＝嵐山町提供

渋谷登美子 議員

HPVワクチン接種、副反応は

答 接種の申し込みがある場合、詳細な情報提供する

3歳児教育は教育の初めの一歩。とりくみましょう

問 ①子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）のお知らせは昨年11月、本年4月に、郵送されたがお知らせ数、問い合わせ数、接種者数は。②現在もHPVワクチンの積極的勧奨は中止されている。99．95％の人には副反応はないが0．05％の人に重い副反応がでて、治療方法はない。厚生労働省のリーフレットは正しい情報が記されてない。正しい情報提供をどうするか。

答 健康いきいき課長 ①昨年11月の発送数は高1の女子対象に79通、問い合わせは7件、接種は6人だった。今年4月の発送数は小6～高1の女子3022通、問い合わせ11件、接種は4月時点で2人。②厚生労働省のリーフレットを同封してお知らせを通知した。ワクチン接種の副反応のリスクとワクチン効果について直接説明するため、予診票は、健康増進センター窓口で直接渡し、医師に十分相談して、接種の判断をしていただくよう情報提供した。

再問 一人の女子に毎年、お知らせを郵送するのではなく、一度だけのお知らせに。

再答 健康いきいき課長 小6の女子へのお知らせだけにすることを検討する。

町立幼稚園3年保育を

問 教育長は、町立幼稚園の園長をつとめていた。杉戸町では、保護者の要望で3歳からの幼稚園を始める。滑川町、深谷市は3年保育。町立幼稚園3年保育について考えを聞く。

答 教育長 学校教育法では「幼稚園に入園できるものは満3歳から小学校就学までの幼児と規定されている。教育の効果という点では3年保育が望ましい。嵐山町立幼稚園2年保育を継続しながら、さくら教室を充実していく。

新聞紙をちぎってまるめて、玉入れだよ。
町立幼稚園３歳児月２回のさくら教室＝R3.6.22

藤野 和美 議員

谷津田の利活用を図るべき

答 出来るところから丁寧にやっていく

谷津田はフルボ酸が含まれた豊潤な土壌。

問 ため池農法の原風景である谷津田の耕作が厳しい状況にあり、耕作放棄地になっていく可能性が大きくなっている。その対策は。

答 農政課長 担い手不足が課題であり、新たな担い手を確保することが、谷津田の耕作継続にもつながる。地域と課題解決のため話し合いをしていく。

再問 ため池の水には、フルボ酸という有機質が含まれている。谷津田米のブランド化に取り組む考えは。

再答 農政課長 取り組んで行く。

問 農業担い手への支援は。

答 農政課長 農業経営に必要な資金の調達支援や事業支援を行っている。新規認定農業者には「農業次世代投資事業」などの支援もある。

問 新規就農促進のため、「下限面積」を緩和する考えは。

答 農政課長 専業農家として農業経営をしていくことを考えると緩和はできない。

越畑地内の谷津田＝R3.6.18

問 新たな活用を図る考えは。

答 農政課長 果樹や新規作物の導入や観光要素も兼ね備えた体験型のフィールドとしての利活用など、所有者や地域の関係者等とも相談しながらやっていく。

問 土地活用センター的なものを作って総合的に対策を講じる考えは。

答 農政課長 既存の関係機関と連携して対策をしていく。

再問 町が方向をしっかりと出していくべきではないか。

再答 町長 谷津田は町にとっても大変重要であり、出来るところから丁寧にやっていく。

居場所づくりについて

問 高齢者などが、自由に集まり交流できる場所が求められているが、その取り組みは。

答 長寿生きがい課長 「嵐丸庵」の開設準備をすすめている。他の場所も研究していく。

町の受付体制について

問 総合受付が必要では。

答 総務課長 ワンストップ窓口で対応していく。

川口　浩史 議員

1トンあたり4万円の処理費用　算出根拠は

答 コスト、環境等審査しオリックスにした 4万円は適正と考える

4万円はちょっと高い気がするが…

問 老朽化した小川町の焼却施設での処理に代わり、可燃ごみの処理を寄居町の「オリックス㈱」と協定を結んだ。処理費用は1トンあたり4万円（税抜）である。どのような積算根拠に基づくものなのか。

答 **環境課長**　小川地区衛生組合は、ごみ処理業務委託に関しプロポーザル（提案）方式で実施した。選定委員会はコスト、環境、継続性等を審査しオリックス㈱に決定したものである。4万円については適正な金額と考えている。

再問 本町は令和2年度およそ1億6400万円の負担金であった。1トンあたり4万円だと負担金はどのくらいになるのか。

再答 **環境課長**　平等割、人口割、利用度割を基に算出するが、現時点で正確な計算が出来ない。

学校再編はいつごろか

問 早急な学校再編を求めるものではないが、いつごろになりそうか。

答 **教育委員会事務局長**　今議会に「嵐山町立小中学校再編等審議会設置条例」を上程した。可決してもらえると審議会で審議し、答申をもらうことになる。

避難所の熱中症、感染症対策は

問 避難所の熱中症及び感染症対策は出来ているのか。

答 **地域支援課長**　11か所の避難所すべてにエアコン設置の部屋があり、具合の悪い人はそこで休むことができる。また停電の場合、小型発電機が11台、電気が供給できる電源車が1台あるので扇風機を回すことが出来る。また水分補給のペットボトルも用意してあり、飲料水の供給は企業とも災害協定を結んでいる。感染症対策においてはフェイスシールドやパーテーションを用意している。避難所入口において検温をし、発熱者は「活き活きふれあいプラザやすらぎ」に移動してもらう。

可燃ごみを発酵により処理する装置
CO_2の大幅削減になる＝オリックス資源循環㈱提供

総務経済常任委員会

調査事項

DMOの設立に向けた取り組みと今後について

●観光協会事務局長・担当課との意見交換

質疑
・DMO申請の進捗と事務局長の役割分担
・観光資源の把握と有効な情報発信
・観光協会としてのメリハリや比企広域の連携
・バーベキュー場の収入は

応答
・候補法人となる申請を進めている。候補法人となったあと、登録法人の申請となる。報告書の作成はハードルが高い。事業は観光協会主体で進める。
・外部目線は必要で重要。アンケート等も考えていく。LINE（SNSアプリ）を立ち上げ嵐山に関する情報を発信したい。地域づくりに協力していただける団体と関係を深めたい。
・観光で来ていただいた皆様に嵐山の良さを知ってもらい、情報発信をしていただく事業を進めたい。そのためにも観光資源を知り、町のことも研究したい。広域な連携は今後のNHKの大河ドラマをきっかけにし、城巡り等も考える。
・協会の収入となる。売り上げの拡大を考えている。
・全般的にお休み場所が嵐山町は少ない。大型バスの駐車場を活用したい。商工会に登録されているキッチンカーの団体とも協力し盛り上げを考える。点と点を線で結ぶ企画も作っていく。

観光協会事務所視察＝R3.5.10

●嵐山町観光協会事務所・嵐なび視察要旨

新年度の観光協会の営業状況は学校橋での入込客数も含め順調な滑り出しとなった。ホームページはバーベキュー場の予約システムが稼働し、野外炉等の貸し出し状況が瞬時に把握できるようになった。嵐なびはメディアの影響もあり、連日多くの来店客で、売れ筋は「御城印」との説明を受けた。

●各委員の感想・意見

・業務の改善が進み、スムーズな移行ができている。ホームページに新鮮な情報が随時掲載できるようにサポーター制度の仕組みをつくるといい。
・「嵐なび」の販売商品も含め町民の協力を仰ぐ姿勢で運営にあたって欲しい。
・杉山城への観光客も多い。トイレが老朽化しており、修繕は緊急性を要する。

嵐なび視察＝R3.5.10

●「千年の苑ラベンダー園」現状と今後の対策について

担当課の説明
約4haの適地に7種類1万4千本植え付け、その他のゾーンは1.5haシャーレポピー、3haはお土産用乾麺に小麦農林61号を植付けした。

Q 来年のラベンダー祭りは

A 年内に大まかな方向性を出す

Q 試験圃場への植え付けは

A 体験型農業として摘み取りのできる果樹園か花だけ見せるのか、スタッフも含め検討中

Q マイラベンダーの現状と展開

A 会員は49人と5団体

用語
※DMO：観光地域づくり法人

文教厚生常任委員会

調査事項　太陽光発電について

嵐山町太陽光発電設備設置に関する条例（案）

環境課との意見交換

● **施行期日について**

担当課より、町民・事業者・その他関係者に十分な周知期間をとること、事務執行体制の準備として、マニュアルを整備し、遺漏のないように事務を進めるため、準備期間がある程度必要との説明があった。

委員からの意見として

・周知すると業者が動く、もっと早い施行をした方がよい。

・1月1日施行は無理か。

・準備は遺漏なく行うことが必要。4月1日施行がよい。

・事業者は地元の要望をくむことが必要である。地元の人が無関心であってはならない。

・環境に対して問題意識が低い。環境課の体制が弱い。

結論として、条例施行は令和4年4月1日とすることに決めた。

● **経過措置について**

環境課から条例（案）に基づくフローチャートが示され、協定締結は既存事業に適用しないことを確認した。

● **その他**

町の技術職員が不足していることが問題であり、今後、県に対する技術的支援の協議等、技術的事務の充実を求める要望書を委員会として町長に提出し、将来的には広域的処理についての協議も要望していくなど意見が出た。

太陽光発電設備設置事業着手フロー

標識の設置（第10条）次条に規定する事前協議を行う30日以上前から標識を設置しなければならない。

↓ 30日以上前

（説明会の開催）第12条
（地域住民等との協議）第14条
↓ 速やかに

事前協議（第11条）事業者は、第15条に規定する届出を提出しようとするときは、当該届出を行う60日前までに、事業に関する計画について町長と協議しなければならない。

↓ 60日以上前

事業の届出（第15条）事業者は、第11条第3項の事前協議終了通知を受けて、事業を実施しようとするときは、町長に届出なければならない。

↓

協定締結（第16条）事業者は、事業の実施に必要な手続を終了したときは、事業に関する協定を町長と締結しなければならない。

↓

事業の着手（第17条）事業者は、協定の締結後、事業に着手しようとするときは、町長に届出なければならない。

広報広聴常任委員会

⑴広報広聴全体会

議会報告会・ICT導入について

・第18回議会報告会は町の学校適正規模等推進の見直しが公表されたことから、意見交換テーマを「学校再編をどう考えますか」と進めてきたが、コロナ感染拡大から、急遽中止となった。準備した報告資料は事務局、ふれあい交流センター、図書館、ホームページで閲覧可能とした。主な内容は3月定例会議案審議、予算特別委員会、各常任委員会報告である。

・議会ICTの推進は個人機器を利用し、活用基準は議会運営委員会で審議する。

・広聴部会より会議動画配信の調査状況が説明される。

⑵広報部会

議会だより182号発行

5月1日発行とし、主には予算審議の内容、補正予算、一般質問、各常任委員会報告、一部事務組合報告他、全28ページの掲載となる。

⑶広聴部会

・議会Wi-Fi使用基準の協議及び会議動画配信の中間報告では、発信量により有料も推測されること、経費をかけない前提とすれば、自らの編集作業で発信経費削減も説明があった。

・町民からの会議動画配信要望であり、前向きに調査を進めることが同意される。

政務活動費

「嵐山町議会政務活動費の交付に関する条例」により、会派及び議員が実施する調査研究、研修、広報・広聴、要請陳情、住民相談、各種会議への参加等町政の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動その他の住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付される。

◆交付額　議員一人当たり月額：2,500円

政務活動費収支状況（令和２年４月～令和３年３月）

会派、議員名	科目	支出事項	支出額	備考
【会派：政友会】 小林智、山田良秋、狄守勝義、大野敏行、畠山美幸、長島邦夫、青柳賢治、松本美子 佐久間孝光（4月～8月分まで）	研修費	議会議員特別セミナー参加費＋交通費×5名	45,710円	町返還額 206,791円
【会派：日本共産党】 藤野和美、川口浩史	調査研究費	情報公開請求代	520円	合計額 20,130円 町返還額 39,870円
	資料購入費	書籍代	19,610円	
【会派：所属なし】 渋谷登美子	研修費	オンライン研修会	10,440円	合計額 30,240円 町返還額 0円
	資料購入費	書籍代	19,800円	
【会派：所属なし】 森一人	—	—	0円	町返還額 30,000円

広報広聴常任委員会（広報部会）　藤野和美・山田良秋・青柳賢治・松本美子・渋谷登美子

読者のこえ

©嵐山町 2011

自分も初めて傍聴したかったが、かなわず。議会に行って生の討論をきいてみたいものだ。

今後の学校についての対策や支援に注意してみていきたい。

議会について学習しながら楽しくクイズができました。

５月からの医療従事者、６月からの高齢者、ワクチン接種がスムーズに行われるよう、健康いきいき課を中心に大変だと思いますが、よろしくお願いします。

議会だよりにより、議会で討論されていることがよくわかります。細かい情報までお伝えいただきありがとうございます。

こえは要約させていただいております

次回の定例会は８月 27 日（金）開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしています。
請願・陳情は８月 18 日（水）午後５時までに提出してください。

図書カード（千円）が当たります

議会だよりクイズ　正しいものはどれでしょう？

問１　一般会計を補正した予算額はいくらですか。

イ、３億 6711 万円　　ロ、１億 6711 万円
ハ、２億 6711 万円

問２　第６次嵐山町総合振興計画は何年後の将来像を示したものですか。

イ、５年後　　ロ、15 年後　　ハ、10 年後

問３　第２次嵐山町都市計画マスタープランは何年後を目標とした計画ですか。

イ、20 年後　　ロ、10 年後　　ハ、30 年後

［応募方法］
ハガキに答えの記号（例　①－イ）住所・氏名・年齢を書いてお送りください。１家族１通のみを有効とします。
議会だよりの感想もお聞かせください。

［宛先］〒355－0211
嵐山町大字杉山1030－1　議会事務局

正解者の中から抽選で５名の方に図書カードを差しあげます。発表は次号に掲載します。

［しめきり］令和３年９月30日(木)まで

議会だより182号のクイズ当選者です！

応募者19人中17人が正解でした。正解は、問１－イ、問２－ロ、問３－ハです。当選者は次の方々です。

須澤　隆　様（菅谷）
大山千恵子　様（菅谷）
小塩　富美　様（菅谷）
田中　和孝　様（志賀）
杉田　全弘　様（平澤）

七郷小運動会＝R3.6.5

編集後記

蔓延防止対策が緊急事態宣言に移行となり、長引く自粛生活に経済への影響が懸念されますが、前を見て頑張りましょう。

新型コロナウイルス対策は、個別・集団のワクチン接種が全課の協力体制により始まりました。１人でも多くの町民が健康で安心して、新たな素晴らしい社会で暮らせることに期待します。

６月定例会では、第６次総合振興計画、第２次都市計画マスタープラン、小・中学校再編等審議会設置条例等の議案がすべて可決しました。今後の嵐山町に期待と希望をもち、町民福祉の向上に議会は全力で努力いたします。

（松本）

発行／嵐山町議会　編集／広報広聴常任委員会
〒355－0211　埼玉県比企郡嵐山町大字杉山1030－1
☎0493(62)4587